**経営所得安定対策情報管理システム**

**申請書入力システム**

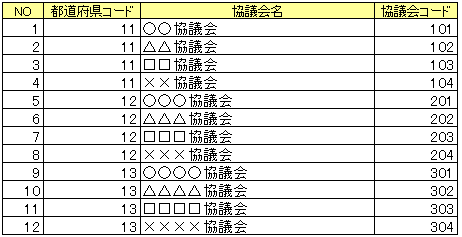
**作物マスタ・協議会マスタの作成手順**

# 協議会マスタの作成手順

取込を行なう協議会マスタは、地域センターで作成したものを、各地域協議会に配布する必要があります。以下の協議会マスタの作成手順に従い、協議会マスタを作成してください。

* 1. サンプルに従い、Excelで各地域センターの協議会マスタを作成する

地域協議会マスタ〔サンプル〕



地域協議会の所在地である都道府県のコード

協議会の名称

協議会コードは

都道府県ごとに付与

【１列目（No）】

・連番を振ってください。

【２列目（都道府県コード）】

・地域協議会所在地の都道府県のコードを１～４７のいずれかを入力してください。

【３列目（協議会名）】

・協議会の名称を入力してください。

【４列名（協議会コード）】

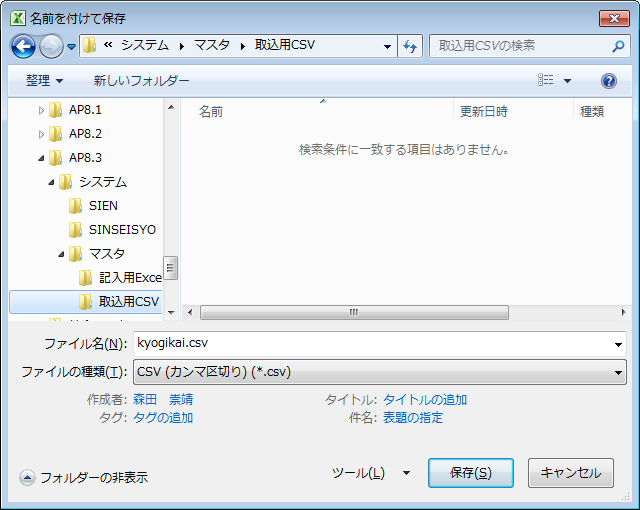
・１～999の任意の数値で協議会コードを入力してください。

（連番でなくてもかまいません。）

* モデル対策で設定した協議会コードと同じコードを設定してください。
* 追加、変更する場合は、農政局、本省と相談してください。
  1. １行目の行を削除し、「kyogikai.csv」という名称でファイルを保存する。

1行目のヘッダー行を削除し、「名前を付けて保存」の際に、ファイルの種類で「CSV」を選択して保存してください。ファイルの名称を間違えないようにご注意ください。（ファイル名が間違っていると、申請台帳ツールに取込むことができません。）

* 行を削除し保存する際、『CSV（カンマ区切り）と互換性のない機能が含まれている可能性があります。この形式でブックを保存しますか？』というメッセージが表示される場合があります。問題ありませんので「はい」を選択し、保存してください。



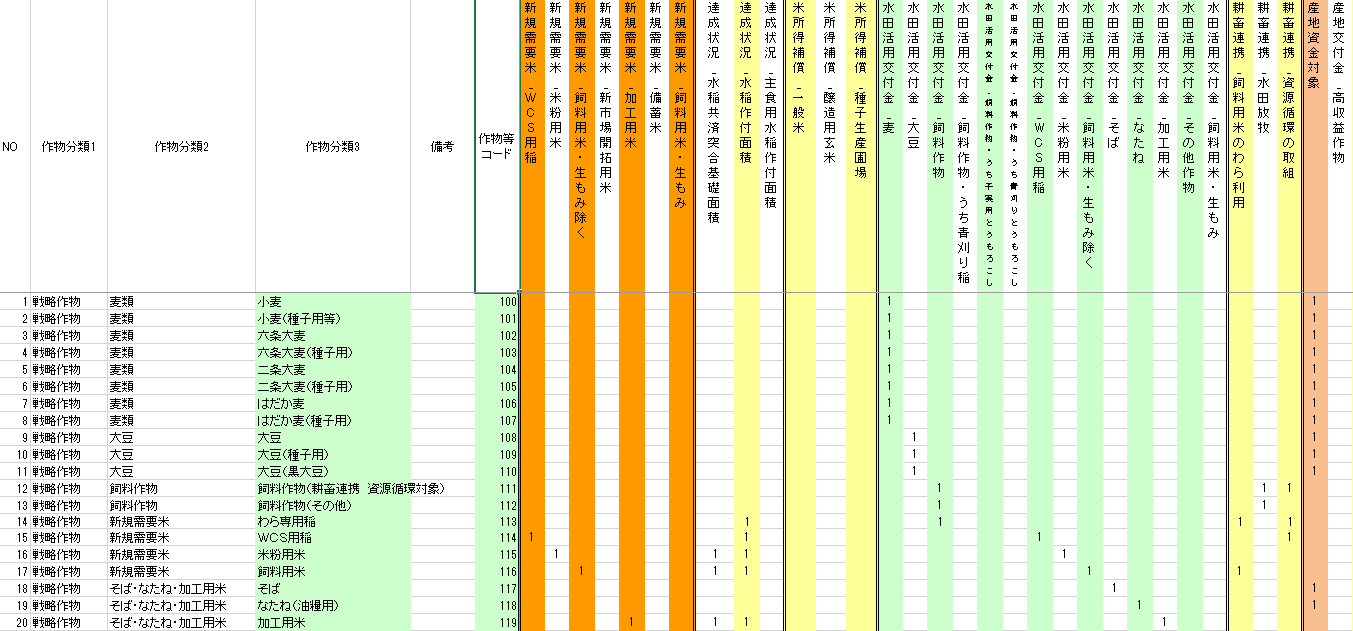
* 保存したCSVファイルは直接修正しないでください。CSVファイルをExcelで開いて修正すると、データが壊れる可能性がありますので、極力、CSVファイルの直接加工は行なわないでください。やむを得ずCSVファイルを直接修正する場合は、CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）を利用して修正してください。
* CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）は、Excel2007には対応しておりません。Excel2007は、ご使用なさらないでください。

1. **作物マスタの作成手順**

取込を行う作物マスタは、地域協議会ごとに異なるので、以下の作物マスタの作成手順に従い、地域センターと相談のうえ、地域協議会にて作物マスタを作成してください。

* 1. サンプルに従い、Excelで各地域協議会の作物マスタを作成する

作物マスタ〔サンプル〕



【１列目（No）】

・連番を振ってください。

　　　画面では作物等コードをコンボボックス内に表示する順序として使用します。

　　　よく使用するコードは上（連番の小さいほう）に配置してください。

【２列目（作物分類１）】

・サンプルを参考に分類を入力してください。

【３列目（作物分類２）】

・サンプルの分類を参考に、作物分類を入力してください。

【４列目（作物分類３）】

* 作物名称を入力してください。
* 営農計画書　データ入力・修正・確認機能の営農計画書画面２の作物名、産地資金の助成対象登録情報入力画面の作物名として使用されます。

【５列目（備考）】

* 作物分類等で補足事項がある場合には備考欄に記入してください。
* 各地域協議会入力する際に作物分類がわかりやすいよう、説明等を書き込んでください。
* 特にない場合は空欄にしてください。

【６列目（作物等コード）】

* 全国統一の作物等コードについてはそのまま使用してください。
* 空きコード枠に関しては１～999の任意の数値で、全国統一の作物等コードと重複しないコードを入力してください。
* 空きコード枠内の新規作物コードについては連番でなくても構いません。
* 121～149、159～199の空きコードについては、戦略作物及び水稲関係への利用を前提とした空きコードです。

地域の作物コード運用に合わせて設定を行うことになりますが、作物コード100～119、150～158に該当する作物の範囲内で利用します。

* 952～999の空きコードについては、助成対象外の農地管理を行うための空きコード枠です。

| コード | 区分 | 内容 |
| --- | --- | --- |
| 200～399 | 野菜 | きゅうり、トマト、なす、ピーマン、かぼちゃ、いちご、すいか、メロン、キャベツ、はくさい、ほうれんそう、ねぎ、たまねぎ、レタス、だいこん、にんじん、さといも、れんこん、しょうが、えだまめ、青さやいんげん、未成熟とうもろこし、ばれいしょ（食用品種）、甘しょ（食用品種）、アスパラガス、かぶ、ごぼう、にんにく、きのこ類、山菜（たら等の木本性作物を除く）、ハーブ類等 |
| 400～499 | 果樹 | うめ、くり、かき、日本なし、もも、いちじく、びわ、西洋なし、すもも、ネクタリン、あんず、ざくろ等 |
| 500～649 | 花き・花木 | きく、バラ、ゆり、チューリップ、カーネーション、あじさい、つつじ、つばき等 |
| 650～947 | その他 | 上記以外の作物 　さとうきび、い草、みつ源れんげ、大豆以外の豆類（小豆、落花生、えんどう、そらまめ等）、種苗類、芝、薬用・香料作物、みつまた、果樹以外の木本性作物（こうぞ、切花用母樹、またたび、たら、うるし等）、ホップ、たばこ、こんにゃく、水田の地力の増進に寄与するもの（クローバー、エン麦、れんげ等）、景観の形成に寄与するもの（コスモス、ひまわり、なのはな等）、きび、あわ、ひえ、はとむぎ、アマランサス等 |
| 948 |  | てんさい |
| 949 |  | でん粉原料用ばれいしょ |

【７～３７列目（集計区分項目）】

* 集計区分として設定されている内容で集計処理を実施します。
* 全国統一の作物等コードに初期設定されている区分について、「達成状況\_水稲共済突合基礎面積」及び「産地交付金＿高収益作物」以外は変更しないでください。
* 達成状況　水稲共済突合基礎面積については、地域の共済引受対象となる水稲作付によって対象作物が違う場合があります。地域ごとに対象作物に「１」を入力してください。
* 空きコードに作物等コードを設定する場合、集計対象に「１」を編集してください。
* 新規にコード追加した場合、水田活用交付金など、複数の区分に「１」を入力すると複数の項目で集計されます。入力の際は他の区分状況に注意してください。
* 空きコードの区分設定に関しては以下の規則を守って設定してください。

1. 米所得補償

・米所得補償\_一般米、米所得補償\_醸造用玄米、米所得補償\_種子生産圃場に「１」

を編集した場合、達成状況\_水稲作付面積及び達成状況\_主食用水稲作付面積に

「１」を編集してください

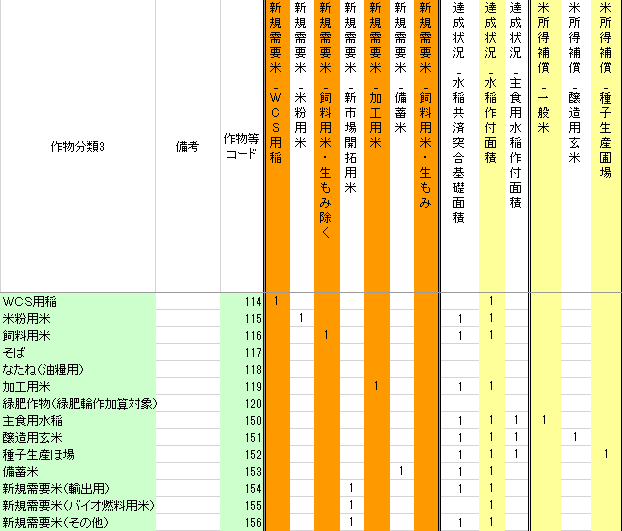


米所得補償の対象作物は達成状況\_水稲作付面積と達成状況\_主食用水稲作付面積もセットで「１」を入力してください

1. 新規需要米

　・新規需要米\_WCS用稲、新規需要米\_米粉用米、新規需要米\_飼料用米・生もみ除く、新規需要米\_新市場開拓用米、新規需要米\_加工用米、新規需要米\_備蓄米に「１」を編集した場合、

達成状況\_水稲作付面積に「１」を編集してください。



新規需要米の対象作物は達成状況\_水稲作付面積もセットで「１」を入力してください

1. 新規需要米と水田活用交付金の関連付け

　・新規需要米\_WCS用稲を「１」で編集する場合、水田活用交付金\_WCS用稲を「１」

で編集します。

・新規需要米\_米粉用米を「１」で編集する場合、水田活用交付金\_米粉用米を「１」

で編集します。

・新規需要米\_飼料用米・生もみ除くを「１」で編集する場合、水田活用交付金\_

飼料用米・生もみ除くを「１」で編集します。

・新規需要米\_加工用米を「１」で編集する場合、水田活用交付金\_加工用米を「１」

で編集します。

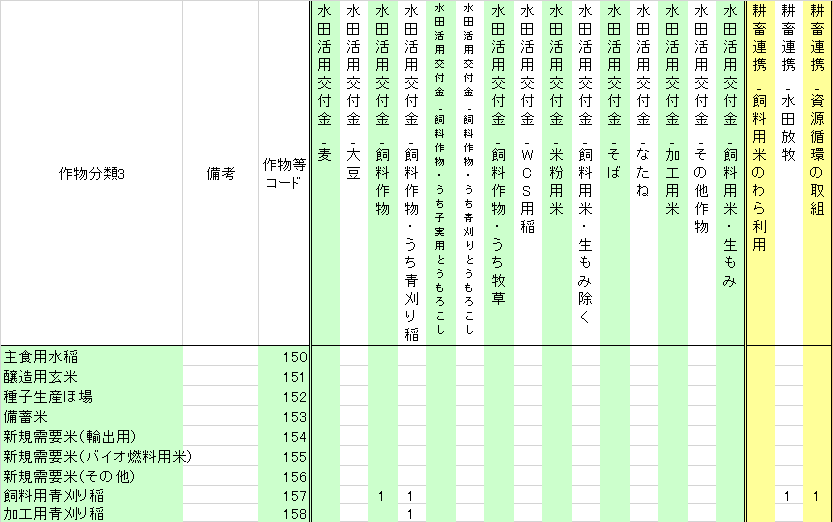
　　　　　　　※上記については、逆の場合も同様に編集します



新規需要米の対象作物で水田活用交付金に同様の作物が存在するもの（WCS用稲、米粉用米、飼料用米・生もみ除く、加工用米）についてはセットで「１」を入力してください

1. その他作物について

・営農計画書　担当者集計欄の出力対象ではないその他作物に関しては水田活用交付金＿その他作物欄に「１」を編集します。



* 水田活用交付金＿その他作物については、H22年度に利用していた項目です。 H23年度以降は利用しない項目になりましたので、現在は設定する必要はありません。 また、その他作物にフラグを設定したとしてもどこにも反映されません。

1. 飼料用米・生もみについて

・飼料用米・生もみについては、以下に「１」を編集します。

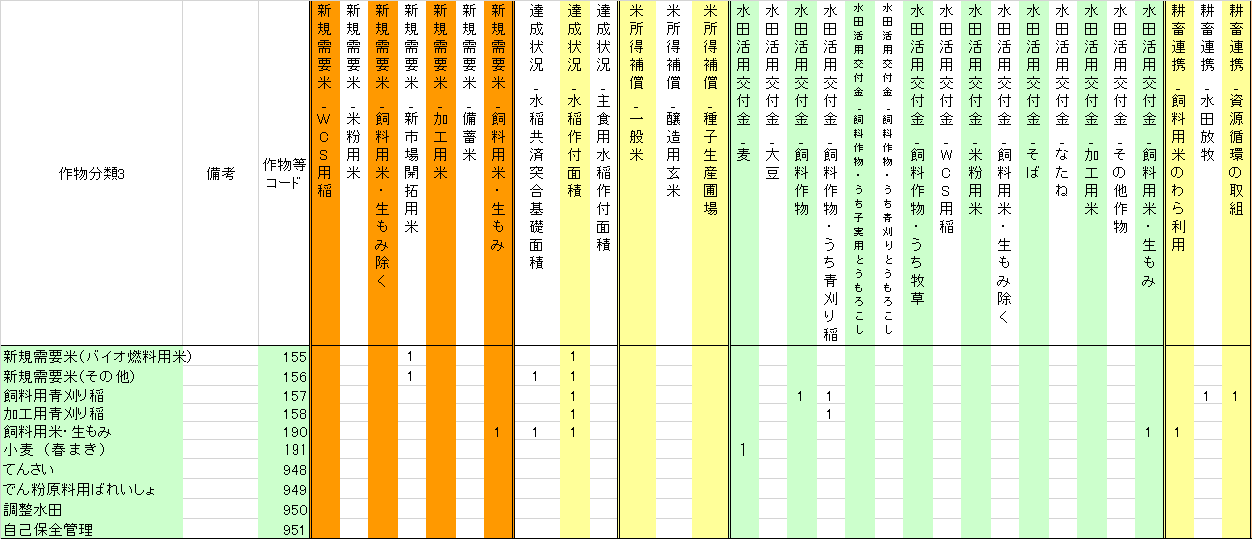
新規需要米\_飼料用米・生もみ

　達成状況\_水稲共済突合基礎面積

　達成状況\_水稲作付面積

　水田活用交付金\_飼料用米・生もみ

　耕畜連携\_飼料用米のわら利用

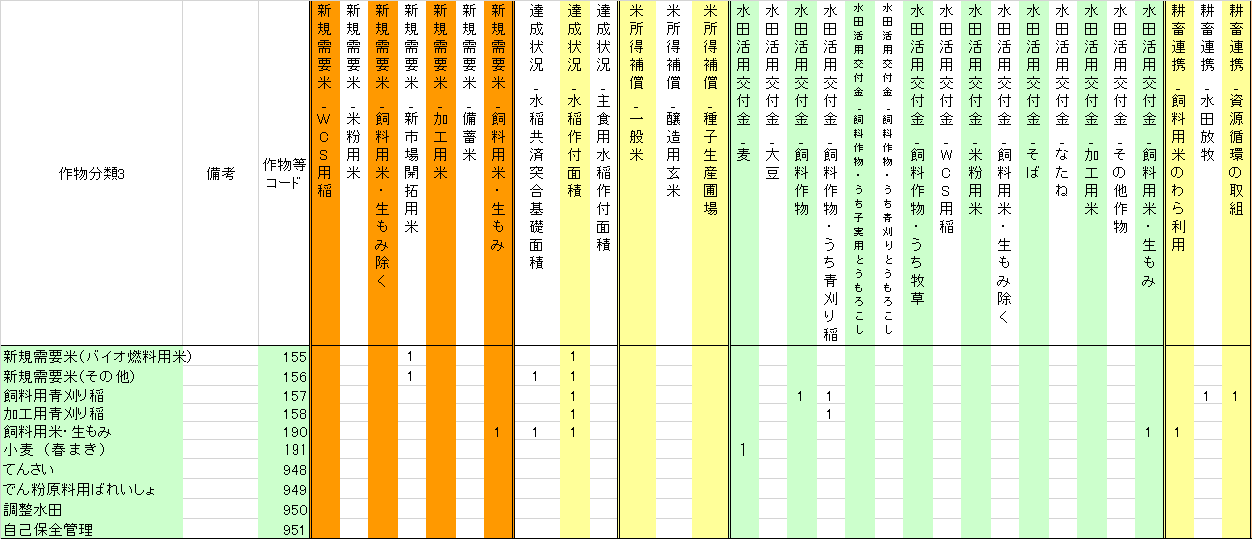


1. 飼料作物・うち青刈り稲について

・飼料作物・うち青刈り稲については、以下に「１」を編集します。

飼料用青刈り稲

　加工用青刈り稲



1. 飼料作物・うち子実用とうもろこしについて

・飼料作物・うち子実用とうもろこしについては、子実用とうもろこしに集計したい作物の行をマスタに追加し、以下に「１」を編集します。

水田活用交付金\_飼料作物

水田活用交付金\_飼料作物・うち子実用とうもろこし



1. 飼料作物・うち青刈りとうもろこしについて

・飼料作物・うち青刈りとうもろこしについては、青刈りとうもろこしに集計したい作物の行をマスタに追加し、以下に「１」を編集します。

水田活用交付金\_飼料作物

水田活用交付金\_飼料作物・うち青刈りとうもろこし



1. 飼料作物・うち牧草について

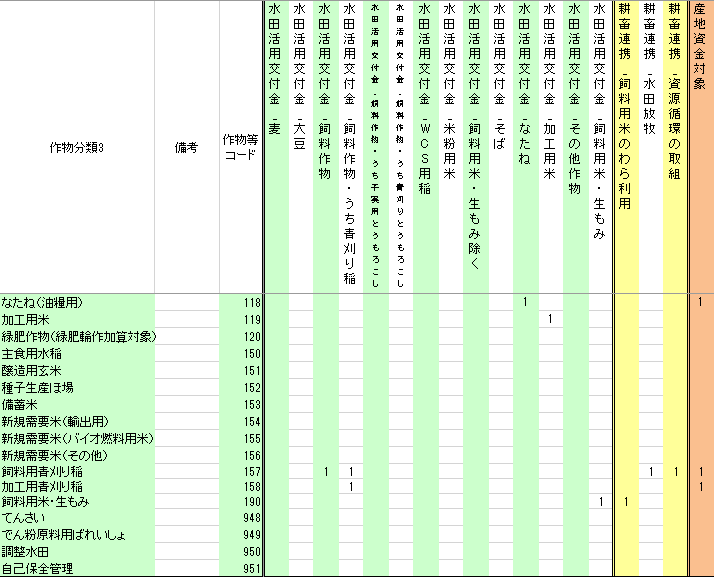
・飼料作物・うち牧草については、牧草に集計したい作物の行をマスタに追加し、以下に「１」を編集します。

水田活用交付金\_飼料作物

水田活用交付金\_飼料作物・うち牧草



【３８列目（産地資金対象作物）】

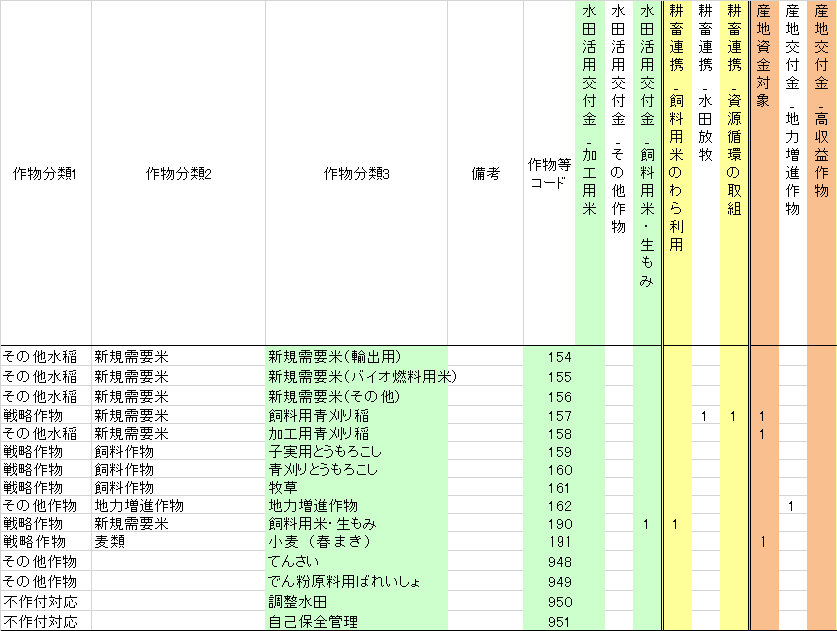
* 様式第６号の帳票の「（３）産地交付金におけるその他作物の助成（単位：ha）」の集計対象となる作物に「１」を入力してください。

※様式第６号の帳票の「（３）産地交付金におけるその他作物の助成（単位：ha）」欄は平成30年度までの同帳票に記載されていた項目となります。平成31年度以降は様式第６号から削除されていますので、産地資金対象フラグは現在設定する必要はございません。また、産地資金対象フラグに設定した場合でもどこにも反映されません。

【３９列目（産地交付金＿地力増進作物）】

・地力増進作物の集計対象となる作物に「１」を入力してください。

・様式第２号の帳票の「産地交付金関係（水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当）」地力増進作物欄に集計結果が出力されます。



【４０列目（産地交付金＿高収益作物）】

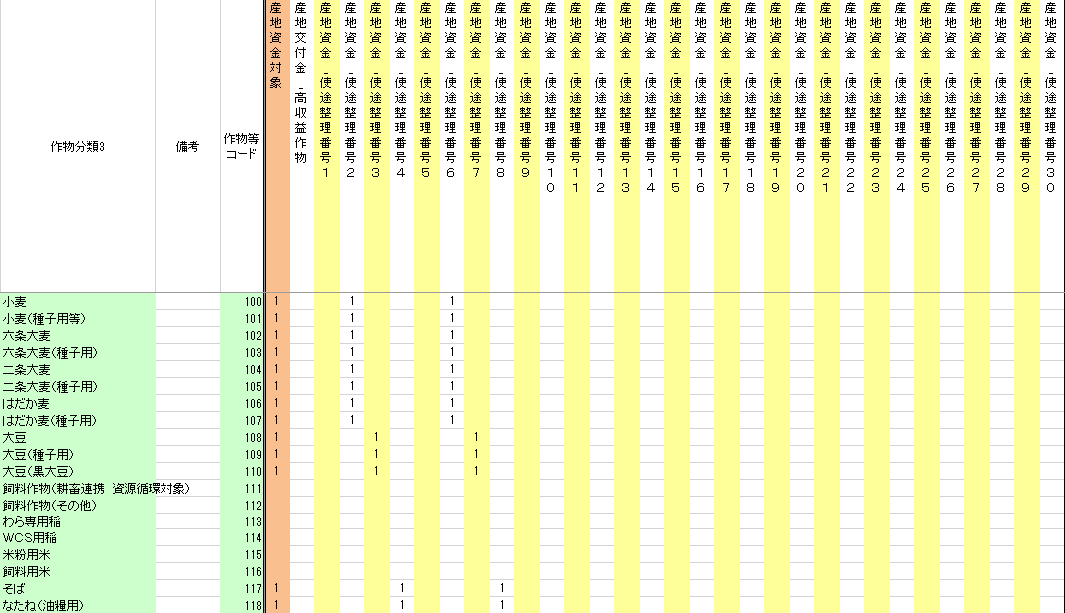
・高収益作物の集計対象となる作物に「１」を入力してください。

・様式第２号の帳票の「産地交付金関係（水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当）」高収益作物欄に集計結果が出力されます。

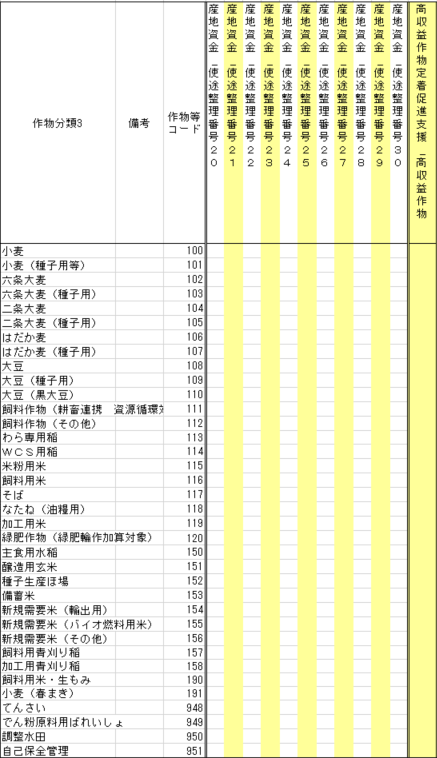


【４１～７０列目（使途整理番号設定）】

* 産地資金\_使途整理番号１～３０は使途設定マスタで設定した使途整理番号に対応しています。各作物に対応する使途整理番号に「１」を入力してください。



【７１列目（高収益作物定着促進支援\_高収益作物）】

* 営農計画書画面２の高収益作物定着促進支援の作物を営農計画書画面３の水田農業高収益化推進助成関係（水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当）及び畑地化促進事業及び畑地化促進助成の高収益作物定着促進支援面積（加工・業務用）及び高収益作物定着促進支援面積（加工・業務用以外）及び高収益作物畑地化支援（高収益作物のみ）面積に集計する場合に「１」を入力してください。  
  

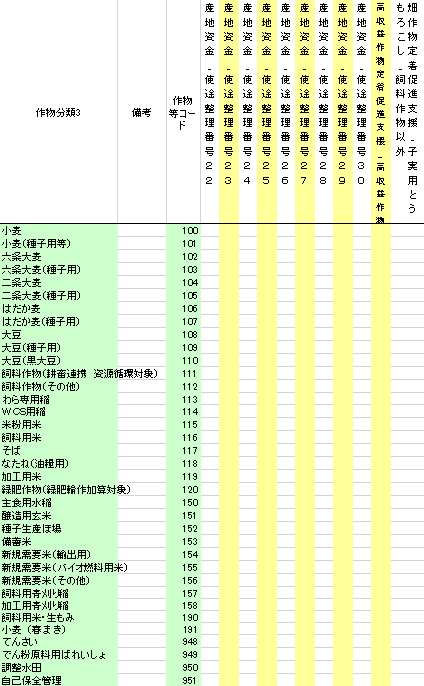
・営農計画書画面３の高収益作物定着促進支援面積（加工・業務用）及び高収益作物定着促進支援面積（加工・業務用以外）の内訳項目の作物分類は、作物等コードの範囲によって以下のように分類され、集計されます。

|  |  |
| --- | --- |
| コード | 区分 |
| 200～399 | 野菜 |
| 400～499 | 果樹 |
| 500～649 | 花き・花木 |
| 上記以外のコード | その他の高収益作物 |

【７２列目（畑作物定着促進支援\_子実用とうもろこし\_飼料作物以外）】

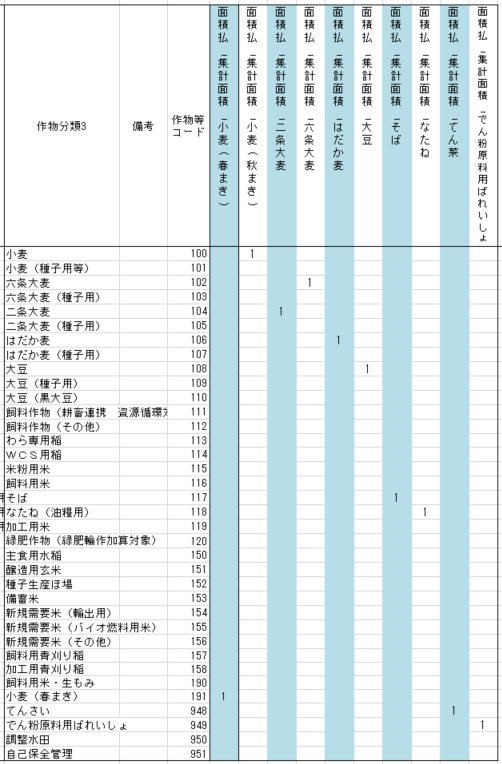
・畑作物定着促進支援\_子実用とうもろこし\_飼料作物以外に集計する場合に「１」を入力してください。様式第２号の帳票の「畑地化促進事業」畑作物定着促進支援・うち

子実用とうもろこし（飼料作物以外）に集計結果が出力されます。



【７３～８２列目（面積払集計面積）】

* 営農計画書画面２の面積払対象の作物を営農計画書画面３の集計面積に集計する場合に「１」を入力してください。



* 1. １行目の行を削除し、「sakumotsu.csv」という名称でファイルを保存する。

1行目のヘッダー行を削除し、「名前を付けて保存」の際に、ファイルの種類で「CSV」を選択して保存してください。ファイルの名称を間違えないようにご注意ください。（ファイル名が間違っていると、申請書入力システムに取込むことができません。）

* 行を削除し保存する際、『CSV（カンマ区切り）と互換性のない機能が含まれている可能性があります。この形式でブックを保存しますか？』というメッセージが表示される場合があります。問題ありませんので「はい」を選択し、保存してください。
* 保存したCSVファイルは直接修正しないでください。CSVファイルをExcelで開いて直接修正すると、データが壊れる可能性があります。極力、CSVファイルの直接加工は行なわないでください。やむを得ずCSVファイルを修正する場合は、CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）を利用して修正してください。
* CSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）は、Excel2007には対応しておりません。Excel2007は、ご使用なさらないでください。
* 作物マスタの作成時に最終行に一度データを入力後、入力したデータを削除するというような操作を行っていた場合、カンマのみの行がCSVファイルに出力されて、そのままでは申請書入力システムで取込エラーとなって取込むことができません。申請書入力システムで取り込みエラーとなった場合には、CSVファイルをメモ帳等で開き、カンマのみの行が存在するか確認してください。  
  カンマのみの行が存在する場合には、保存したCSVファイルをCSV編集ツール（CSVファイル変換ツール\_ver1.0.xlsm）で一度開いたあとファイルを上書き保存することによりカンマのみの行が削除され、申請書入力システムで取込が行えるようになります。

（３）申請書入力システム支援ツールの「作物マスタ」シートを入れ替える

　申請書入力システム支援ツールの「作物マスタ」シートもここで作成した作物マスタと同じものである必要があります。各地域センター等で作物シートを入れ替えてから支援ツールを配布するか、または作物マスタシートの入れ替え手順の案内を行ってください。

≪作物マスタの入れ替え手順≫

作成した作物マスタを開き、１～４列目及び６列目をそれぞれ作物マスタシートにコピーしてください。

申請書入力システム支援ツールの「作物マスタ」シート

